

二〇〇七年九月議会 一般質問

07年9月27日(木)午前(一番目)

日本共産党 藤木くにあき

日本共産党の藤木くにあきでございます。私は、市政のムダを最大限になくし、市民のくらしと、福祉をまもる市政を推進する立場から、市長に6つの項目について質問いたします。

質問の第一は、市庁舎の建設についてです。

私は、市庁舎の建設について、簡素でできるだけ安価なものにするため、基本構造を純鉄骨造りにする問題から、間取りの問題まで、具体的な提案をおこなってきましたが、市長は、これを拒否され、鉄骨鉄筋コンクリート造りの一部6階建て、延べ床面積7千4百㎡で、土地の買収費や移転補償費などを含め総額39億円をかけて新庁舎を建設するとしておられます。

9月末には実施設計書ができるとのことですが、出来上がり次第、すみやかに、市民のみなさんと市議会に提示されるようつよく求めるものです。

そこでお尋ねいたします。実施設計書が認められた場合、新庁舎の入札は、どのような方法でおこなおうと考えておられるのか、まず答弁を求めるものです。

いうまでもなく、適正な競争を確保し、建設費を大幅に節減する手立てについて、積極的に検討すべきだと考えますが、市長の明確な答弁を求めるものです。

また、建設費の削減のため、議会本会議場などの机、イスについては新規の購入をやめ、支所の議会棟に保存されているものを含め、現在あるものをひきつづき使用すべきだと考えますが、市長の明確な答弁を求めます。

質問の第二は、建設工事の入札状況についてです。

2007年度の建設工事の入札予定価格段階別の落札率の状況はどうなっているのか、まず答弁を求めます。(1千万円未満、3千万円未満、5千万円未満、8千万円未満、1億円未満、1億円超え)

これまでも、何回か指摘してきましたが、全ての入札について談合などを排除し、適正な競争を確保することは、市民の税金を使っておこなう、公共事業の発注者である市長の重大な責任問題であり、終始、目をいき届かせていなければなりません。

しかし、今年度8月におこなわれた下水道工事については、入札のルールを途中で変えたことにより、9工事約4億円の事業で、落札率が直前の同様の工事の80%から95%に、実に、15%もはねあがったことは、落札額が約6千万円高くなったということであり、事実上の官制談合だったのではないのでしょうか。市長の明確な答弁を求めます。

質問の第三は、保育料の軽減についてです。

以前にもこの問題を提起しましたが、市長は、これを拒否されてきました。しかし、保護者のみなさんの願いは切実なものがあります。

そこで、お尋ねいたします。少子化のもとで、それに対する対策として、第2子、第3子については、兄弟姉妹が同時に入所していなくても軽減に道を開くべきではないでしょうか。改めて市長の明確な答弁を求めるものです。

かりに、軽減するとした場合、該当児童数はそれぞれ何名で、軽減額はそれぞれいくらになる見込みか、あわせて答弁を求めるものです。

質問の第四は、産婦人科医の確保についてです。

この問題は、市長も、くりかえし述べておられるように、緊急かつ焦眉の課題です。医局の人事が始まる前段に当たり、最近のとりくみの状況と今後の見通しについて、明確な答弁を求めるものです。

質問の第五は、盲導犬等への助成についてです。

盲導犬、介助犬は、視力、身体等の、障害者の社会参加をうながす大切な課題です。特に、若い世代の方には、積極的に活用できるような条件を、市民のくらしをまもるべき行政の責任において、整備していくことがつよく求められています。

以前にも、問題を提起していますが、盲導犬、介助犬の導入に対する助成を早急に具体化するべきではないでしょうか。

また、盲導犬等の検診費用(月1回の定期健診、年2回の血液検査)、餌代等は、年間約18万円にもなっており、必要な助成を検討すべきではないでしょうか。「弱者の視点に立つ」と公約されている市長の明確な答弁を改めて求めるものです。

質問の第六は、信号機の設置についてです。

しよつばらゆめさくらの所の、国道交差点が危険な状況にあることは、市長も良くご存知のことだと思えます。市民の生命を守る使命を担っておられる市長として、この交差点に信号機を早期に設置するようとりくまれる必要があると考えますが、現状はどうなっているのか、明確な答弁を求め、私の質問といたします。